

2021年 4月 30日

消化器外科Ⅰに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、「ヒト由来組織、細胞リソースの集積を目的とした臨床情報管理システム（Tissue Bank）の構築」（医 14-005）へご参加いただいた患者さんから提供していただいた検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するご質問などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 非アルコール性脂肪性肝疾患患者における肝癌発症・進展機序の解明

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授 竹原 徹郎

[研究機関] 北海道大学大学院医学研究院・消化器外科学教室、北海道大学病院・消化器外科Ⅰ、大阪大学（竹原徹郎、小玉尚宏）がん研有明病院（高橋祐）鹿児島大学（夏越祥次）鳥取大学（本城総一郎）国立国際医療研究センター（考藤達哉）札幌医科大学（時野隆至）仙台厚生病院・肝臓内科（近藤泰輝）東京大学 大学院新領域創成科学研究科（鈴木穰）新潟大学医学部 産科婦人科学教室（吉原 弘祐）

[提供責任者] 武富 紹信（北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室Ⅰ・教授）

[研究の目的] 患者さんからご提供いただいた腫瘍組織を大阪大学で解析し、肝がんが進展するメカニズムを明らかにします。当研究の成果から、将来的には肝がんの早期発見と治療の方法を見つけ出すことが期待されます。

[研究の方法]

対象となる患者さん

消化器外科 において手術加療を受けた患者さんで、「ヒト由来組織、細胞リソースの集積を目的とした臨床情報管理システム(Tissue Bank)の構築」（医 14-005）に同意していただいた方

利用する検体およびカルテ情報

検体：手術で切除された組織の一部、血清

カルテ情報：診断名、年齢、性別、検査結果（血液結果、画像検査、病理検査）、その後の経過（生存期間、再発日）

当初、手術で切除された組織の一部のみ提供いただく予定でしたが、血清も利用させていただくことになりましたので、ご協力の程お願いいたします。ご協力いただけない場合には、下記[問い合わせ先]までご連絡をお願いいたします。

上記の検体は、癌で生じる体細胞変異の解析のために大阪大学に送付します。またカルテ情報も同解析のために、大阪大学に電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2025年12月31日

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目
北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 I
担当 深井 原
電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515